

雲仙市長 金澤 秀三郎 様

雲仙市入札監視委員会意見書

平成29年5月25日  
雲仙市入札監視委員会

## 入札監視委員会報告及び意見

雲仙市の入札制度は、制限付一般競争入札の対象範囲拡大や電子入札方式の導入など、これまで順次改善が図られてきました。今期においては、建設コンサルタント等業務における最低制限価格の導入や建設工事における予定価格等の算出方法の改定など、法令等に基づき真摯に取り組まれていることが確認できました。

本委員会においては、昨年度より建設コンサルタント等業務の入札においても審議対象に加えて、建設工事の入札と合わせて審議を行いました。入札結果など疑義のあった案件については市へ調査を求め、市から報告を受けました。

また、今年度の災害復旧工事等の入札において、多くの不調、不落があっておりますが、発注者の責務として災害復旧の遅れを招かないような対策が望まれます。

今期2年を終了するにあたり、入札及び契約制度の競争性・公平性及び透明性の確保と行政効率の向上がより一層図られることを期待し、次のとおり意見を具申いたします。

## 1. 適正な発注について

建築一式工事Aランクの制限付一般競争入札は、応札者が常に少ない状況であり入札談合等が懸念されます。入札参加条件を設定する際に、より多くの業者が参加可能で、公正な自由競争が発揮できるような工夫をすることがより一層求められます。

また、災害復旧工事の入札不調、不落の件数が多くなっています。これは技術者や作業員の確保ができないことや、年度末完成の目処が立たないことなどが原因のひとつのようです。災害復旧が遅れ、市民生活に支障をきたすことがないように、予算の繰越制度を活用するなど適正に執行することが必要です。

## 2. 最低制限価格について

ランダム係数の影響で殆どの応札者が最低制限価格を下回り失格となり、予定価格に近い者が落札者となるケースが稀に見受けられます。市民目線からしてもダンピング防止という本来の目的から離れ、結果的に競争性が働いていない場合があると考えられるため、最低制限価格の制度運用には常に注意を払い適正に運用することが必要です。

## 3. 入札結果の注視について

入札金額に一定の規則性や落札回数均等性があるのではないかと疑念を持たれるものが見受けられます。応札業者の見積り精度も高くなっており、入札の不自然さを判断することは難しいと思われませんが、入札結果を常に注視し、不自然さがあると発注者が判断した場合は、市の談合情報等対応マニュアルに基づき適正に処置することが必要です。

### 雲仙市入札監視委員会

委員長	吉田省三
委員	中村聖三
委員	川島陽介
委員	吉田博幸
委員	重野淳

## 審議経過

年度	開催日	議事内容
27年度 第2回	27年11月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・指名停止案件の報告・・・2件</li><li>・調査指示事項の報告</li><li>・官製談合防止法等研修会の実施報告</li><li>・抽出事案の審議・・・・・・・・7件 (4月～9月対象案件 工事72件)</li></ul>
28年度 第1回	28年5月23日	<ul style="list-style-type: none"><li>・入札監視委員会設置要綱の改正</li><li>・指名停止案件の報告・・・9件</li><li>・抽出事案の審議・・・・・・・・8件 (10月～3月対象案件 工事85件、 コンサル32件)</li></ul>
28年度 第2回	28年11月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・指名停止案件の報告・・・4件</li><li>・抽出事案の審議・・・・・・・・10件 (4月～9月対象案件 工事76件、 コンサル49件)</li></ul>

## 雲仙市入札監視委員会委員

[任期 平成 27 年 5 月 28 日～平成 29 年 5 月 27 日]

区 分	氏 名	役 職 等
経済分野	吉田 省三	委員長 元長崎大学経済学部教授
技術分野	中村 聖三	委員長代理 長崎大学大学院工学研究科教授
法律分野	川島 陽介	弁護士
学識経験者	吉田 博幸	公募委員
学識経験者	重野 淳	公募委員